

## 令和4年度 第2回 米子市児童文化センター運営委員会 発言要旨

### 1. 広報活動について

#### (委員)

- ・ホームページは見やすく工夫がなされている。子ども会の会議の場への出席や、SNS を活用したりと、時代に則した広報活動を行っている。
- ・放課後児童クラブの中には、週末や長期休暇期間に、子ども達が主導して計画を立て、行きたい場所に出かけていくという取り組みをしている所もある。児童文化センターの年間事業計画を、放課後児童クラブの事務局に示しておくことで、子ども達の活動の幅が広がり、児童文化センターも活気づくのではないか。
- ・広報誌やホームページなど、文字だけでは伝わりにくい部分もある為、事業の様子を動画にあげるなどするのも一つの手法ではないか。

#### (事務局)

- ・SNS での広報は情報発信、情報拡散の方法の一つだと考えている。加えて対面での広報活動にも力を入れるべきだと認識している。

### 2. ICT（情報通信技術）環境について

#### (委員)

- ・現在小中学校では、タブレットを使用して学びを行っている。児童文化センターも ICT 環境を強靱化することで、施設運営・活用の輪が広がっていくと考える。学校現場においても、国や市町村の補助で ICT 環境が整ってきている。今後の展望として、対面での学びに加え、ICT 環境の整備を進め、更なる利便性向上に努めていただきたい。

#### (事務局)

- ・学校も含め、様々な ICT 環境に対応した施設整備が求められている。様々な事業において、整備をしていかなければならないと認識している。

### 3. マスク緩和及びコロナ5類移行に伴う施設の運営方針について

#### (事務局)

- ・当館は県及び米子市の方針に則った対応をしている。3月13日のマスク緩和、及び5月8日のコロナ5類以降も、引き続き県及び米子市の方針、類似施設の動向も見ながら、対応して行くこととする。
- ・3月1日よりプラネタリウム貸館は、入館者数をコロナによる規制前に戻す予定としている。

#### 4. その他

##### (委員)

- ・GIGA スクール構想が始まり 2 年目。対面での学びは非常に貴重であると認識されている。児童文化センターには引き続き、多様性に富んだ催し物や事業活動を行っていただきたい。
- ・施設利用の使用状況の確認に、米子市の「混雑ランキングを活用していただきたい。
- ・「米子市子どもの読書推進ビジョン」の概要、及び児童文化センターの取り組みを、図書に関するチラシの中に組み入れていただきたい。
- ・県外からのリピーターが多い施設でもある。米子城等、周辺施設等とのタイアップも企画していただきたい。

##### (事務局)

- ・当館は、「在住外国人が好きな米子の場所」という企画で YouTube の取材を受けた。2月中旬にアップされる予定である。
- ・令和 5 年度に、空調及び消防設備の基本的な整備工事を行う為、休館となる時期がある。工期は決定次第、お知らせすることとする。

以上。